条幅規定参考手本　—11月末日締切—

〈楷　書〉



（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生書

〈行　書〉



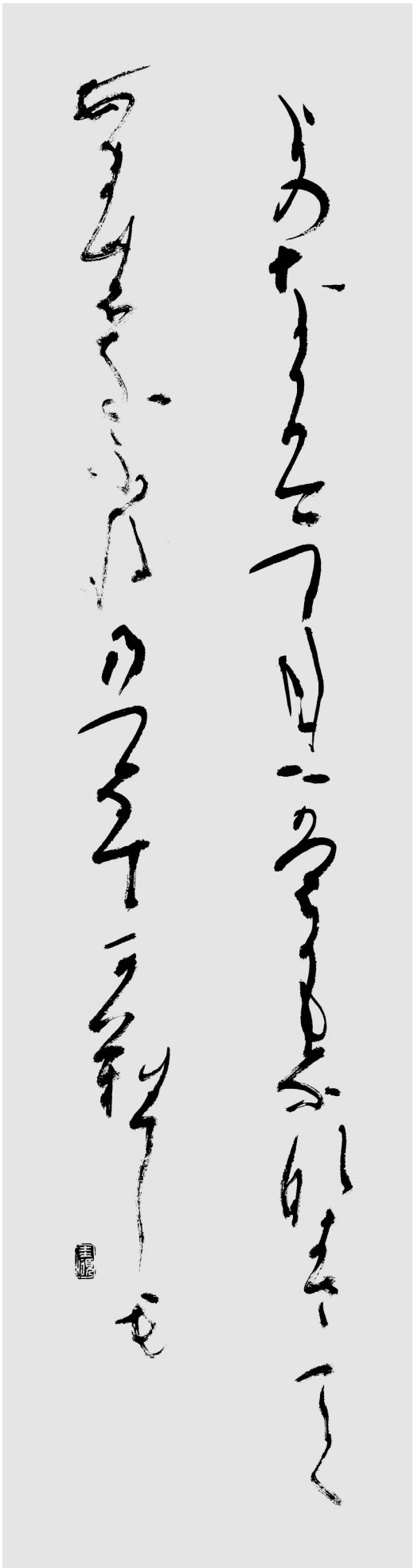
小畠秋聲先生書

□　我が心に相憶（あいおも）うを知れ（梁〈六朝〉「襄陽白銅鞮歌」）

私があなたのことをいつも思っていることを、忘れないでください。

次号予告「野寺訪僧歸帯月　芳林携客醉眠花」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



舟尾圭碩先生書

□よのな可盤（かは）つ年二裳可（ねにもか）もな　那支（なき）さこく　あま農（の）をふねの　つなて可難（かな）しも　〈百人一首 九十三〉

世の中は　つねにもかもな　なきさこく　あまの小舟の　つなてかなしも

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）



井之上南岳先生臨

▽蜀素帖

龜鶴年壽齊羽介所託殊種々是靈物相

条幅随意参考手本　—11月末日締切—

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



吉田成堂先生書

□中島斌雄（なかじまたけお）の句　一輪の　秋の薔薇と　階のぼる

条幅随意（半折1/2縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



渡邉大嶽先生書

□三日月の細き際より一葉哉　小林一茶の句

行の流れを意識し、文字の大小、潤渇の変化、余白の生かし方などに留意して書きましょう。

条幅随意（半折1/2）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

半紙規定参考手本　　—11月末日締切—

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□小処（しょうしょ）に滲漏（しんろう）せず（「菜根譚」前集）
小さい所でも手を抜いてはいけない。

吉　田　成　美　先　生　書

次号予告「晩就則善終」

半紙規定参考手本　　—11月末日締切—

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□小処（しょうしょ）に滲漏（しんろう）せず（「菜根譚」前集）
小さい所でも手を抜いてはいけない。

次号予告「晩就則善終」

吉　田　成　美　先　生　書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―11月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります

□膠結（こうけつ）（晋・干宝「晋紀」総論）
人心を固め結ぶこと。



吉　田　成　美　先　生　書

半紙随意（臨書）参考手本　　—11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書△　手首を柔らかくして、筆脈や気脈を心がけよう。



▽蜀素帖

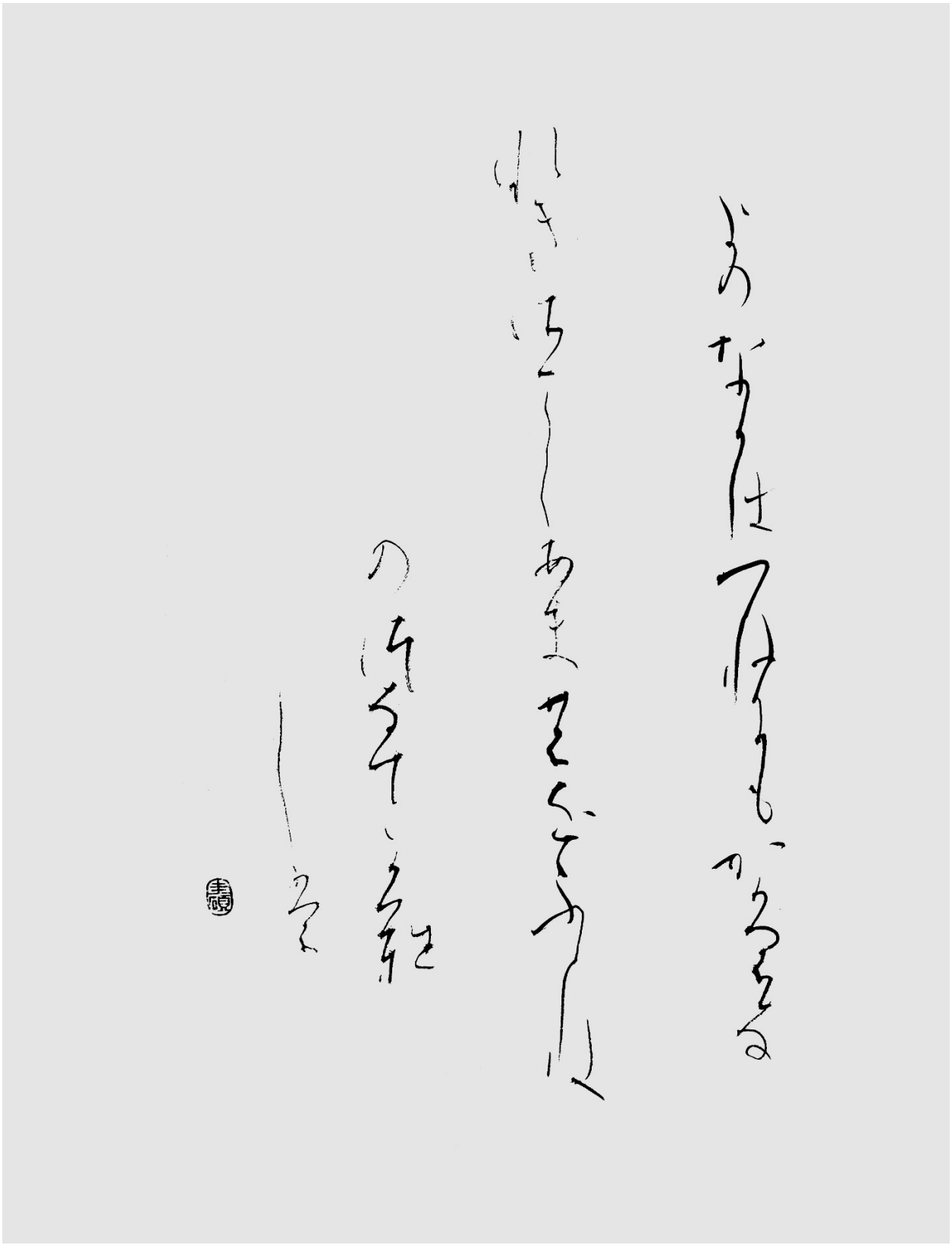
「鶴疑縮頸還」

清　原　大　龍　先　生　臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　—11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

〈仮名〉よのな可は　つね尓もか裳な　那き佐こく　あま農をふねの　徒なて可難し裳　〈百人一首 九十三〉



世の中は　つねにもかもな　なきさこく　あまの小舟の　つなてかなしも

舟　尾　圭　碩　先　生　書

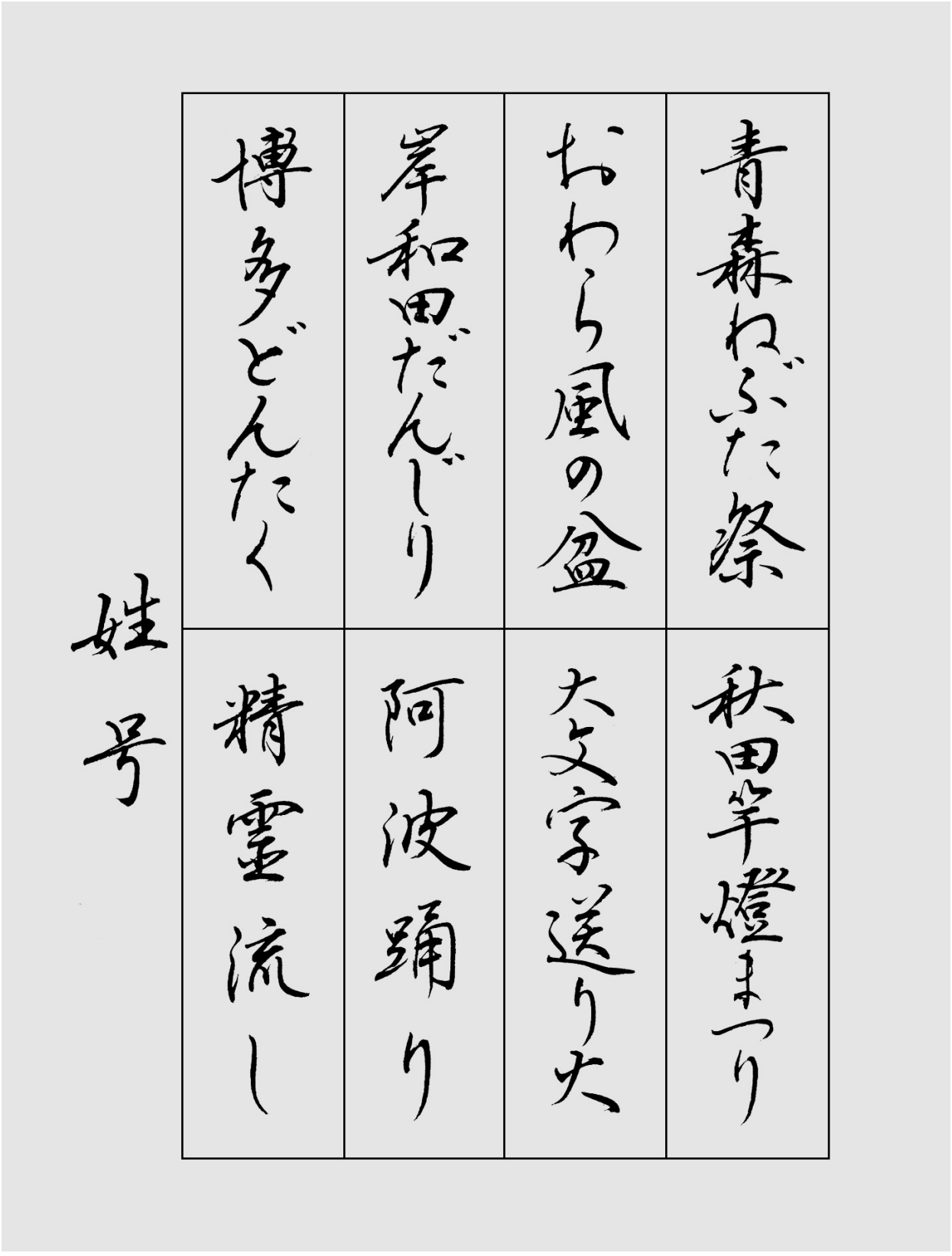
半　紙　随　意　参　考　手　本　　―11月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

〈実用書〉

青森ねぶた祭　秋田竿燈（かんとう）まつり　おわら風の盆　大文字送り火
岸和田だんじり　阿波踊り　博多どんたく　精霊流し



兵　頭　白　慧　先生書

一般硬筆部参考手本＜A＞ —11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

〈暮らしに役立つ書〉

書譜

前略　十一月になり、こちらは寒さが増してきました。風邪をひいていませんか。

昨日は市内で初雪が降り、これからは雪かきが毎朝の日課に。かく汗の音を聞くと、冬が来たなと感じます。

お正月には帰って来るのでしょうか。忙しくと思うけれど、たまには声を聞かせてください。会えるのを楽しみにしています。

草々

母より

罫のある便箋に書いてみよう。〈26cm×18cm〉紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小　畠　秋　聲　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜B＞ ―11月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

ネットを含め、メディアの真価は社会の逆境で試される。扇動の洪水は国を過つが、一片のお知らせが多くを救いもする。世が一色に染まらぬよう、確かな情報を選び取る力を養いたい。

段　級
氏　名

扇動（せんどう）あおりたてること。　過つ（あやま・つ）

小　畠　秋　聲　先生書

今月のかきかたドリル（形や注意する点に気をつけてゆっくり書こう！）

中　学	小学６年	小学５年	小学４年	小学３年	小学２年	小学１年	ようねん
索	漢	効	明	気	教	本	え
索	漢	効	明	気	教	本	え
索	漢	効	明	気	教	本	え

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

学生部条幅¼　参考手本　　—11月末日締切—

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）


小学４年


小学３年


小学２年


ようねん・小学１年


中学２・３年


中学１年


小学６年


小学５年

秋永春霞先生書

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

学生毛筆部規定参考手本　—11月末日締切—

ようねん・小学一年



次号予告「わ　た」

□「い」の一画目はしっかりはねましょう。「ぬ」は二画目の書き始めの位置に気をつけましょう。

小学二年



次号予告「あやとり」

□書き始めは、筆のほ先をきれいにそろえ、カタカナは、直線的に書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年



次号予告「立　冬」

□穂先の向きや〝左払い〟・〝右払い〟・〝ハネ〟の筆使いに気をつけて、ゆっくりと書こう。

小学四年



次号予告「白　鳥」

□「進」は部分の組み立て方に注意し、「化」は穂先の動きと点画のつながりを意識して書こう。

吉田成美先生書

学生毛筆部規定参考手本　—11月末日締切—

小学五年



□「平・心」は点の位置に注意し、「和」は〝のぎへん〟と〝口〟のバランスに気をつけて。

次号予告「強い信念」

小学六年



□「伝・統」は〝へん〟と〝つくり〟のバランスに気をつけ、「美」は横画の長さに注意して。

次号予告「風花のまう街」

秋永春霞先生書

中学一年



□文字の配置や画数の多い文字と少ない文字との調和に注意して、明るく伸びやかに書こう。

次号予告「将来の夢」

中学二・三年



□筆の穂先をつかって、リズムにメリハリをつけ、急がずにゆったりとした気持ちで書こう。

次号予告「輝ける未来」（行書）

吉田成美先生書

学生硬筆部規定参考手本　—11月末日締切—

ようねん　（※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。）

段級	
氏名	

えがおで　えんそ
く　あいうえお

ここそく　こうえん

段級	
氏名	

小学一年

としょかんの本
は、よんだり
りたり　する　こ
とが　で　か
できます。

一十木本（ほん）　と［とめる］　よ［とめる］

坂元紫香先生書

学生硬筆部規定参考手本

—11月末日締切—

小学二年

考えたことを、教
室にいるみんなに
聞こえるように、
はっぴょうしよう。

段級

氏名

小学三年

大豆のよいところに気
づき、食事に取り入れて
きた昔の人々のちえに
おどろかされます。

段級

氏名

一 一 一

小学四年

写真などを文章で説明
するときは、相手に伝え
たいことは何かをはっき
りさせることが大切です。

段級
氏名

坂元紫香先生書

小学五年

科学的な天気予報を一つの有
効な情報として活用しながら、
自分でも天気に関する知識を
もち、自分で空を見、風を感じ
ることを大切にしたいものです。

段級
氏名

小畠秋聲先生書

学生硬筆部規定参考手本

—11月末日締切—

小学六年

中国から漢字が伝わると、私たちの先祖は、それらの話や歌を、漢字を使って書き記すようになりました。そして、現存する日本最古の歌集「万葉集」が作られました。

段級

氏名

はねないで下のよこせんにつける ⊙はねる

万葉集（まんようしゅう）

⊙つき出ない

⊙とめる

中学

「論語」に収められた短い言葉の中には、人間の生き方についての鋭い観察や深い思索が込められている。だからこそ、二千五百年以上前の言葉が今も読み継がれているのだ。

段級

氏名

⊙つき出ない ⊙間をあける

収 幸 索 絲 継

小畠秋聲先生書